

# 第1回 NITS 大賞（平成29年度）エントリーシート

広島県廿日市市立四季が丘小学校

C-10

**【活動名】** 学び続ける子どもの育成を目指して  
～「つなぐ」「広げる」校内研修から「日々の授業改善」の取組を通して～

**解決すべき課題：**

- ・児童の学力の向上と設定した資質・能力の育成・伸長
- ・児童の「主体的・対話的で深い学び」を促すことをねらいとした国語科の単元開発
- ・教員の「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善への共通理解及びその手立ての明確化

**目的や背景：**

平成27年度より「広島版『学びの変革』パイロット校事業」の指定を受け、「課題発見・解決学習」の過程を取り入れた単元開発や授業改善に取り組んできた。1年目は、児童の実態把握が十分でないままに、スタイルや手法にこだわった授業を展開してしまったため、学力の定着に大きな課題が見られた。その反省を踏まえ、2年目からの総合的な学習の時間、また今年度の国語科の単元開発では、児童の課題意識ありきで、育てたい姿・ゴールイメージを明確にした授業づくりを進めてきた。校内研修では、全員参加・共通理解を大前提に研究授業からの学びをさまざまな手立てを取り入れ、個々の授業改善につなげる、校内に広げるという視点を大切に取り組んできた。

**活動内容：**

- ・一年間の学びを常に意識できるよう、国語科のカリキュラムマップ（図1）を作成し、各教科・領域との関連、系統性や評価等について明らかにした上で、単元開発や授業研究を積み重ねた。
- ・単元及び毎時間の目指すゴールの姿をしっかりと描き、何を身に付けさせるのかを明確にすること、また、シンプルでコンパクトでありながら重点をとりこぼすことのないよう指導していくことを通して、当該学年で身に付けるべき力を確実に育てていくために、指導事項を焦点化した指導と評価の計画を作成し、授業を展開した。
- ・指導事項の焦点化し、各教科、総合的な学習の時間、領域等と関連付けながら単元を開発できるように、単元配列表（図2）を作成した。
- ・全教職員が研究推進への共通理解を図るため、校内研修では提案授業後の研究協議内容から、多面的に手立てを考え、私たち自身の学びを深め、それをもとに翌日からの授業改善につなぐことができるよう、振り返りを大切にしている。



図1 カリキュラムマップ



図2 単元配列表

**活動の成果：**

今年度の広島県「基礎・基本」学力定着状況調査において、一定の結果を出すことができた。（図3）

授業改善においては、指導事項の見極め、焦点化についての意識は高まった。教職員の研究への共通理解を基盤に、児童の学ぶ意欲を喚起させるような手立てや仕掛けをちりばめ、理由や根拠を明確にしながら自分の考えを表現する活動を充実させた単元開発を進めることができています。

また、一人一人の教職員が自分の指導のあり方を振り返り、課題の提示や発問の精選など、授業改善の視点を明確にもって、主体的に授業づくりに取り組めるようになってきた。職員室では児童の成長を喜び合う姿、色々な視点から育てたい姿について議論し、楽しみながらゴールイメージを描き、学びの創造に向けた授業づくりにチャレンジする会話が増えてきている。

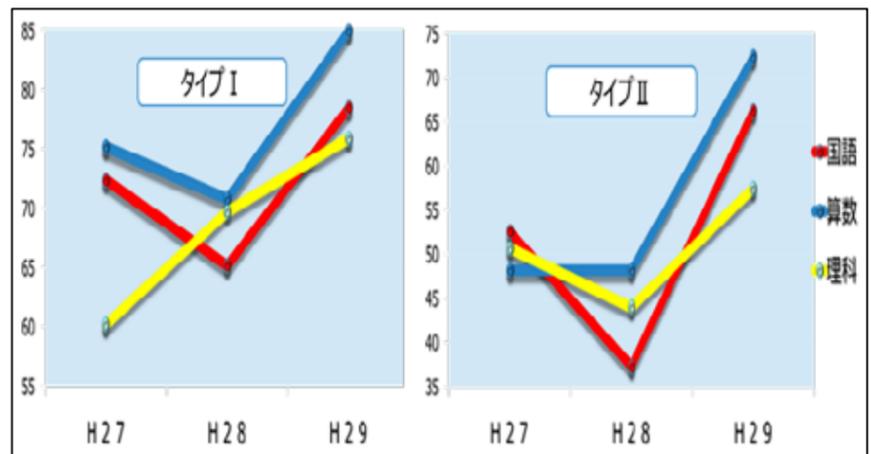


図3 広島県「基礎・基本」学力定着状況調査の通過率

**アピールポイント（アイデア）：**

校内研修では提案授業後の研究協議内容から、多面的に手立てを考え、私たち自身の学びを深め、それをもとに翌日からの授業改善につないでいる。本校では、児童の学びを生むために教職員の学びにおいても、「課題発見・解決学習」の過程を取り入れている。研究授業での「整理・分析」の場面における対話の中で児童が主体的に学び、理解が深まったと判断できる姿や発言の具体を丁寧に見取り、シートに記入する。その内容をもとに研究協議会でグループ協議を行い、どのような手立てが児童の主体的な学びに対し有であったのか、また、そうでなかった場合は、その要因は何かを考え、拡大指導案等を用いて可視化し交流している。児童の姿からの学びを通して得た改善点について、授業にどう生かしていくかを考え、決意を明確にした上で、学年やブロック等で検討後、模擬授業や事前授業を行っている。全体研修・学年研修などを通じて共通認識した取組や個々の工夫点などを研究推進便りにまとめ、日常的な授業改善をめざしている。



児童の変容を見取る教職員の姿

授業づくり  
国語科

主体的・対話的で深い学びを実現するための手立てやし  
かけを積極的に取り入れている。

カリキュラム・マップ  
各教科・領域との関連、  
系統性や評価等を明記



学習レリバンス（学びの必然性）、単元及び毎時間の  
ゴールイメージを明確にする。  
指導事項の見極め・焦点化を行うとともに、言語活  
動の充実を図る。  
相手意識・目的意識を明確にする。

「広がり・深まり」を生む交流を位置付けるために  
・個々の考えや話し合いの中身を可視化する。  
・1時間の授業デザインを明確にして目的のある対話を  
取り入れる。（対話の時間の確保）  
・深い学びを実現できた児童の具体的な姿を明確にもつ。

教職員の振り返りより  
単元として、1時間ごとの「つきたい力」  
を指導者自身が明確に持つておくことの大切  
さがわかりました。そのことが、子どもたち  
の変容につながるのです。



児童の振り返りより  
大すきをしょうかいしあえてよかったです。  
みんなそれぞれわけや文がちょっとにて  
いました。つぎのこくごのとき、大すきカ  
ードをつくるのがたのしみです。（1年生）

授業づくり  
総合的な学習の時間

ふるさとの価値ある学習材・人材から学ぶという視点で「防災教育」  
を系統的に位置付け、実践・改善を行いながら充実を図っている。

「教える」から「語り合い、伝え合う」へ 地域で育てる  
単元名「Let's トライ 防災」

防災の心



第6学年  
～ふるさとのために私たちにできること～  
防災を担う地域の一員としての意識を高  
め、今の自分たちにできる企画の実現に向  
けて、自助・共助・公助の視点で考えます。  
（まちぐるみチャレンジ・ミーティング）



第5学年～土砂災害から地域を守れ～  
教科の学習と関連付けながら科学的  
な姿勢で災害と向き合い、災害から身  
を守るための方法について世代を超え  
て教え合い、語り合います。  
（地域でチャレンジ・ミーティング）

第4学年～やってみよう！伝えよう！  
ぼくらの手作り防災訓練～  
学習で学んだことを子どもから大人へ  
呼びかけ、災害への備えについて世代を  
超えて教え合い、語り合います。  
（親子でチャレンジ・ミーティング）



学び続ける児童  
学び続ける教職員  
集大成

校内研修づくり

「つなぐ」「広げる」という視点をもって  
参加し、日々の授業改善を目指している。



「課題発見・解決学習」の過程を取り入れた校内研修づくり

「個の変容見取りシート」の活用し、児童の学びの姿から課題を発見する。

「主体的・対話的で深い学び」を実現する効果的な手立てやしかけについての情報を収集する。

学年ミーティング・模擬授業で自分の指導の在り方を整理・分析する。

学習指導案にまとめ、授業を行う。

視点をもとに日々の実践を振り返る。

研究推進便りで共通理解を図り

日々の授業改善へつなぐ。



研究推進便り



教職員の振り返りより  
振り返りの視点を明らかにすることで、  
子どもたちの記述の質が上がってきました。  
ねらいを焦点化した教師の手立てがあれば、  
子どもたちの成長や変容が見られるとわかっ  
たので頑張っていきたいです。



開発単元  
（主なもの）

「課題発見・解決学習」の過程を取り入れた単元を  
持続可能で、汎用性のある形で発信する。

教科	学年	教科単元名
国語	1	よんでよんで わたしのだいすきなほん 「おとうとねずみチロ」
	2	知らせたい！名人のすごわざ・とくいわざ 「名人をしょうかいしよう」
	3	めざせ！要約マスター 「もうどう犬のくんれん」
	4	「いいね！」をいただき！和と洋新聞をつくろう！「くらしの中の和と洋」
	5	比べて発見！書き手の意図を読み取る 「新聞記事を読み比べよう」
	6	投書で発信！自分の思いを伝えたい！「新聞の投書を読み比べよう」
算数	5	面積の求め方の共通点を見付けよう 「面積」
体育	1	ちびっこ忍者隊！ポポロの森に参上だ！「多様な動きをつくる運動遊び」
総合	4	Let's トライ防災 ～やってみよう！伝えよう！ぼくらの手作り防災訓練～
	6	四季が丘未来づくりプロジェクト ～ふるさとのために私たちにできること～

学力，資質・能力の向上をめざした四季小の取組